

3/7 もう一度、敷地川に桜を！



桜の植樹する参加者たち

令和4年、5年の大雨被害の復旧工事により伐採した敷地川堤防の桜並木を復活させるため、静岡県さくらの会や地元住民などと一緒に敷地川桜づつみ合同植樹祭を開催しました。

植樹した緑の少年団の子どもたちからは「きれいな桜がなくなって寂しかったけど、こうやって戻ってきてくれてうれしいです」「植樹した桜がきれいに育って欲しいです」などの感想が聞かれました。

2/28 Out of KidZania in いわた



ピアノ製造スタッフの仕事体験をする参加者

アミューズ豊田などで、地元企業の仕事を経験してもらった「Out of KidZania in いわた」が開催されました。参加者たちは美容師や銀行員など29のプログラムから地元企業で働くプロの指導のもとで「リアルな仕事」を体験しました。

仕事体験を終えた参加者はイベント専用通貨「ペイ」を給料として受け取り、会場内でしゅぺいグッズやお菓子などの買い物を楽しみました。

3/8 磐田の魅力を PR します



観光大使に選ばれた山中さん（中央）と芝田さん（右）

富岡交流センターで、磐田市の観光情報や魅力を市内外に向けて発信する「2026磐田市観光大使」の選考会が開催され、山中恵太郎さんと芝田美海さんが新たな観光大使に任命されました。

山中さんは「ユーモアを忘れず、温かみのある磐田を皆さんに伝えていきたいです」と話すと、芝田さんは「笑顔と元気いっぱい観光大使として頑張りたいです」と話しました。

3/6 竜洋中学校赤ちゃん登校日



赤ちゃんを抱っこする生徒

竜洋中学校で、赤ちゃんに触れ合う「赤ちゃん登校日」が開催され、3年生125人が参加しました。

当日は保護者や民生委員に教わりながら赤ちゃんの抱っこ体験や出生や育児に関する話を聞きました。

参加した白木凧紗さんは「普段赤ちゃんに触れ合うことがないので貴重な体験でした。実際に赤ちゃんを抱っこして、命の尊さを改めて感じることができました」と話しました。



3/13 地域おこし協力隊活動報告



地域おこし協力隊の皆さん

市内で活動する地域おこし協力隊8人が、市役所で活動報告を行いました。

地域おこし協力隊は市から委嘱を受けて市外から移住し、空き家活用や、観光、農業振興などの地域課題に取り組んでいます。

報告を受けた草田市長は「各分野での活動を通して気付いた磐田の魅力などを、これからも市内外へ発信してください」と話しました。

3/10 農業農村整備事業広報大賞受賞



市長に報告する伊藤理事長（中央）、神谷事務長（右）

令和7年度農業農村整備事業広報大賞を受賞した寺谷用水土地改良区の伊藤英明理事長、神谷英志事務長が草田市長を表敬訪問しました。

寺谷用水は、令和4年に世界かんがい施設遺産に登録され、歴史や施設などをPRするパンフレットなどの作成や親子バスツアーの実施が評価されました。

伊藤理事長は「これからも寺谷用水を広くPRしていきます」と話しました。

3/19 東京2020オリンピック卓球台寄贈



水谷隼さん（左）と伊藤美誠選手（右）

磐田卓球場ラリーナで、東京2020オリンピック卓球競技の混合ダブルスで実際に使用された台を含む卓球台2台の寄贈式が行われました。当日は水谷隼さん、伊藤美誠選手も出席しました。

決勝で使用された台は2人のサイン入りで、栄光を讃える顕彰エリアに展示され、どなたでも見学することができます。もう1台はアリーナに設置され、実際に使用することができます。

3/12 竜洋十束公園遊具リニューアル



新しい遊具で遊ぶ園児たち

竜洋^{とつみ}十束公園で、リニューアルした遊具のお披露目式が開催されました。

この遊具のデザインは地元の幼稚園、保育園などによる投票で決定し、以前と同じく船がモチーフになっています。

当日は竜洋幼稚園の園児が遊び初めを行いました。園児からは「滑り台が楽しかったので、また遊びに来たいです」などの感想が聞かれました。